

所属 健康医療科学部		職名 教授	氏名 高橋 伸子	学位 Ph. D.	兼任している研究科 心理医療科学研究科
研究分野 心理学			研究分野のキーワード 実験心理学		
学歴					
1999年07月	ベルン大学 (Ph.D)				
職歴					
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
フラッシュと運動の時間的關係がフラッシュラグ効果に及ぼす影響	共著	2022年07月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 12	井上真依・高橋伸子	41頁～49頁
フロー錯視における時間周波数の影響	共著	2022年07月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 12	大橋佑香・高橋伸子	61頁～70頁
フラッシュラグ効果における見かけの速度の影響	共著	2022年07月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 12	岡田美鈴・高橋伸子	51頁～59頁
両眼分離呈示におけるTroxler刺激を用いた消失現象の検討 - 両眼視野闘争及び点滅の効果 -	共著	2022年07月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 12	不破京香・高橋伸子	19頁～27頁
両眼分離呈示された輝度変調刺激とコントラスト変調刺激の方位と運動方向の知覚	共著	2022年07月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 12	國武実里・高橋伸子	71頁～98頁
視覚的注意における顔優位性の検討	共著	2024年10月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 14	李佳卿・高橋伸子・稲垣尚恵	85頁～101頁
両眼分離呈示下における運動方向の異なる縞刺激の刺激サイズと空間周波数が形や運動の抑制に与える影響—短時間呈示の場合—	共著	2024年10月	愛知淑徳大学健康医療科学部健康医療課科学研究 14	國武実里・高橋伸子	103頁～116頁
学会発表					
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
所属学会					
2003年04月～現在	ARVO (The Association for Research in Vision and Ophthalmology)				
2003年04月～現在	日本基礎心理学会				
2003年04月～現在	日本視覚学会				
2003年04月～現在	日本心理学会				
社会活動					

教育活動		
教育実践上の主な業績	年 月 日	概 要
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
(1) デモンストレーションや、実体験を活用した体験的な授業	2004年04月 ~ 現在	授業で解説する視覚現象について、実際に見たり、刺激を作るなどの体験を活用した授業を行っている。たとえば演習授業では、両眼立体視や視差について体験的に理解するため、ステレオグラムを自作させ、各自刺激として用いて実験したり(心理実験法演習2)、講義科目においても、講義内容に則した模擬実験やデモンストレーションなどを活用し、本を読んだだけではわかりにくい現象については動画などの視覚表示を用いた授業を行っている(実験心理学・視覚心理学2)。
2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
健康医療科学部長	2018年04月 ~ 2022年03月	
V 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		